

早く見つければ
治ります!

がん検診スヌメ隊



滋賀県健康づくりキャラクター
しがのクミ

平成28年
10月23日(日)
午後2時～3時
ショッピングプラザアピア
(アルプラザ八日市)
セントラルコート
『二胡っ娘』による
二胡演奏

平成28年
9月18日(日)
午後2時～3時
モリーブ(アルプラザ守山)
セントラルコート
近江むかで太鼓保存会
による太鼓演奏



滋賀県健康づくりキャラクター
しがのハグ



平成28年
11月20日(日)
午後2時～3時
アルプラザ水口
海の広場
県立水口東高等学校
吹奏楽部による
楽器演奏

【全会場共通イベント】

- ★ ○×クイズ!!
全問正解で先着200名に粗品をプレゼント
- ★ ドクターの、○×クイズの
答えがわかるおはなし
- ★ ちびっこじゃんけん大会
勝者にはハグ&クミシールをプレゼント
- ★ がん啓発展示ブース



主催：滋賀県がん対策推進運動実行委員会

滋賀県がん患者団体連絡協議会、一般社団法人滋賀県医師会、滋賀県がん診療連携協議会、東京海上日動火災保険株式会社
アフラック、株式会社滋賀銀行、第一生命株式会社、びわ湖放送株式会社、日本放送協会、滋賀県、公益財団法人滋賀県健康づくり財団

お問合せ先

滋賀県がん対策推進運動実行委員会事務局（公益財団法人滋賀県健康づくり財団内）

TEL:077-536-5210

がんサバイバー（がん経験者）の声



女優 原 千晶さん体験談

（公式ブログ(2011年10月11日)からの抜粋）

もっと早く病院に行っていれば・・・もっと若いうちに検診で毎年チェックしていれば・・・。
ガンに罹患したとき誰もがこの考えを持つと思うのです。それくらいガンという病気は早期発見早期治療が鉄則です。手の施しが早ければ早いほど治る確率がぐんと上がります。

私自身、検診を怠ったこと、そしてガンという病気への認識の甘さが2度もの子宮ガンを招きました。こんな思いを他の女性にしてほしくないんです。

I.N.さんの体験談

（滋賀県がん患者団体連絡協議会）

32歳の時自分で触ってしこりに気づき、乳がんと言われた時はこのまま死んでしまうんじゃないかと思いました。手術後4年が経ちましたが、現在も治療中です。がんが分かった時1歳3か月だった双子のわが子も来年は小学1年生になります。子どもの成長が楽しみです。今、がんは早く見つければ治る病気になっています。私はまだがん検診の対象年齢になる前にがんになってしまいましたが、がん検診の対象年齢の方には是非がん検診を受けて欲しいと思います。

Y.H.さんの体験談

（滋賀県がん患者団体連絡協議会）

体調不良とお腹の張り、食欲がない状態が続き受診したところ、即入院となり、大腸がんの宣告を受けました。入院中は毎日の検査に必死で、淡々と過ぎていきました。何も言わないけれど、しんどい時そっと傍に居て寄り添ってくれる家族の存在に支えられ、頑張らないか、と思いました。

1年半後の娘の成人式と一緒に祝えた時は、うれしかったです。

大腸がんはゆっくり進行するそうです。早く見つければ治療も軽く、後の心配も少なく済みます。

とくに大腸がん検診は便を採るだけなので、気楽に受けて欲しいです。

30代OLの体験談

（子宮頸がん征圧をめざす専門家会議ホームページ
「子宮頸がん講座 ～彼女たちの体験記～」より）

職場の定期健診のオプションで子宮がん検診を受けました。本当は気が進まなかったのですが、会社の補助もあり安く受けられるので、同僚と一緒に受けました。その結果、初期の頸がんにかかっている可能性があるとなり、愕然としました。ごく早期にみつかったので、日帰りの円錐切除で治療。「がん」という言葉を聞いたときには、「もう子どもも産めないのでは」と一瞬、目の前が真っ暗になりましたが、出産も大丈夫と言われました。入院もせず、会社を休むことなく、手術を受けることが出来て本当によかったと思っています。あのとき思い切って検診を受けていてよかった、手遅れになっていたら大変なことになっていたと思います。

40代主婦の体験談

（子宮頸がん征圧をめざす専門家会議ホームページ
「子宮頸がん講座 ～彼女たちの体験記～」より）

たまたま市役所の広報で、子宮がん検診のことを知り、面倒だとは思ったのですが受けてみたところ、子宮頸がんがみつきりⅡa期と診断され、手術で広汎子宮全摘術とリンパ節郭清をうけました。現在も経過の観察のため通院も続けていますが、再発も心配です。検診なんて簡単なのに、なぜもっと早く受けなかったかと後悔しています。子育てに忙しく、自分の体のことに無頓着だったことを大いに反省しました。

F.Y.さんの体験談-

（滋賀県がん患者団体連絡協議会）

9年前に乳がんで右乳房を全摘し、その後抗がん剤治療とホルモン療法を体験しました。半年間休職し、その後復職。現在も仕事を続けています。がんのサバイバーが新たに就労するのは難しい現状があり、仕事は辞めないで続けることが大切だと思います。頼られることをうれしく、治療中も仕事を支えになりました。乳がん検診のマンモグラフィは痛いから嫌だとおっしゃる方がいらっやいますが、マンモグラフィの痛みなんて一瞬です。これを避けたことで一生のつらい治療があるんです。怖がらないで検診を受けてください。



だから あなたに がん検診をススメたい！